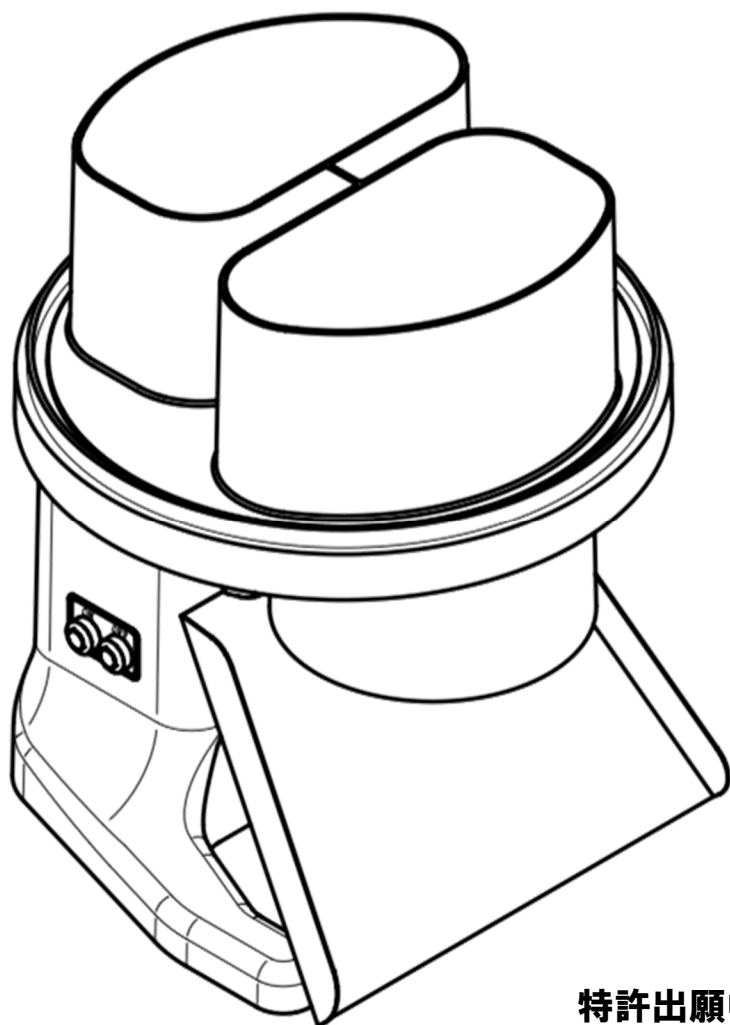


キャベツー RCS-71

取扱説明書

業務用



特許出願中

HappyJapan



4 937319 325011

目次

安全上のご注意	P 2～4
各部の名前	P 5
機械の持ち運び方と設置	P 6
ご使用前の準備	P 7
ご使用方法	P 8
各部品の取り外し方法	P 9～10
各部品の取り付け方法	P 11～13
お手入れの方法	P 14～15
刃物研磨の方法	P 16～17
仕様	P 18
ちょっとお調べください	P 18
修理サービスおよび保証（保証書）について	P 19

- このたびは、キャベツ用 RCS-71 型をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。
- 製品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの
取扱説明書をよくお読みになり十分にご理解ください。
- お読みになった後は、いつでも確認できる場所に保管してください。
- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載しております。
必ず、お買い上げ日、販売店名等の記入をお確かめください。

 ご使用前には必ず安全上のご注意、使い方について30分程度のトレーニングをしてください。

安全上のご注意

ご使用の前によくお読みのうえ、正しくお使いください。

この注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをした時に、死亡または重症を負う可能性があるもの



注意

誤った取扱いをした時に、使用者が傷害を負ったり物的損害の可能性のあるもの

絵表示例と絵表示の意味

	分解禁止	⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	コンセントを抜く	● 記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

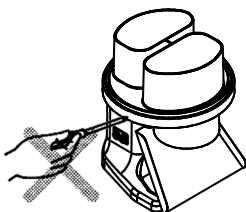
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない



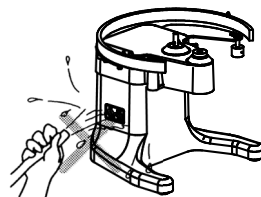
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



機械本体は、水をかけたり、水につけたりしない



ショート・感電の恐れがあります。



子供に使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

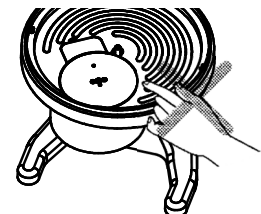


火傷、感電、けがをする恐れがあります。

刃物は鋭利なので、直接手を触れない



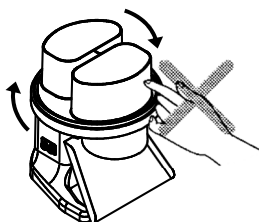
けがをする恐れがあります。



運転中、ドラムに指や手を触れたり、入れたりしない



けがをする恐れがあります。



電源プラグを抜くとき、濡れた手では絶対に行わない



ショート・感電の恐れがあります。



安全上のご注意

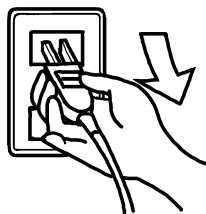
ご使用の前によくお読みのうえ、正しくお使いください。

警告

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く



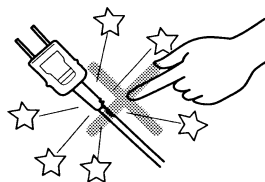
感電やショートして発火する可能性があります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない



感電・ショート・発火の原因になります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重いものを載せたり、挟みこんだりしない



電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

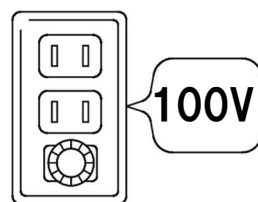
交流100Vを使用し、必ずアースをとること



火災・感電の原因となります。



アース



アース線は水道管、ガス管、電話のアース線、避雷針等に接続しないこと。必ず電気工事士によるD種接地工事を施したアースへ接続する



アースが不完全な場合、火災・感電の原因となります。

本機の電源は、漏電遮断器付きのサーキットブレーカ、またはそれと同等の設備に直接接続すること



漏電による火災・感電の原因となります。

延長コードやタコ足配線の使用、配線機器の定格を越える使い方をしないこと



発熱による火災の原因になります。

漏電遮断器やサーキットブレーカがOFF（切）に作動した場合、すぐにお買い上げの販売店へ連絡すること



無理にONにすると、感電や火災の原因となります。

屋外で使用しないこと



雨水のかかる場所で使用すると、漏電、感電の原因になります。
紫外線の当たる場所で使用すると、樹脂部品が割れる原因になります。

湿気の多い場所や、水のかかりやすい場所で使用しないこと



漏電、感電の原因になります。

硬いものなどをカットした際に刃物、およびドラムがロックした場合、ただちに停止スイッチを押し、電源プラグをコンセントから抜くこと

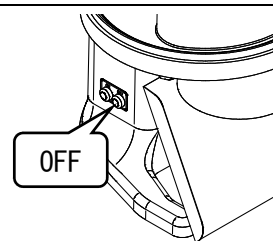


ショート及び発火の原因になります。

スイッチ「切」を確かめてから、電源プラグを抜き差しする



けがの原因となります。



安全上のご注意

ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。

⚠ 注 意

不安定なところでは使用しない



けがの原因となります。



付属のおもり以外は使用しない



故障、けがの恐れがあります。

ドラム回転中は、キャベツ、おもり等の物をいれない

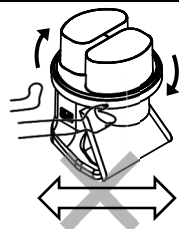


けがの原因となります。

運転中に移動させない



けがの原因となります。



毎回使用後は必ず洗浄すること



放っておくと雑菌が繁殖し、健康被害の原因になります。

掃除するときは、刃物を取り外してからにする

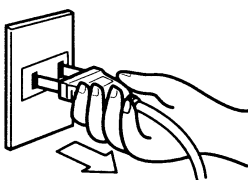


けがをする恐れがあります。

部品の取付け、取外し及びお手入れをするときは、スイッチを切り、電源プラグを抜く



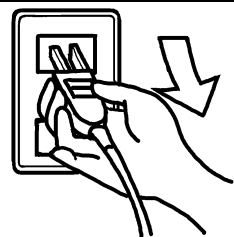
けがをする恐れがあります。



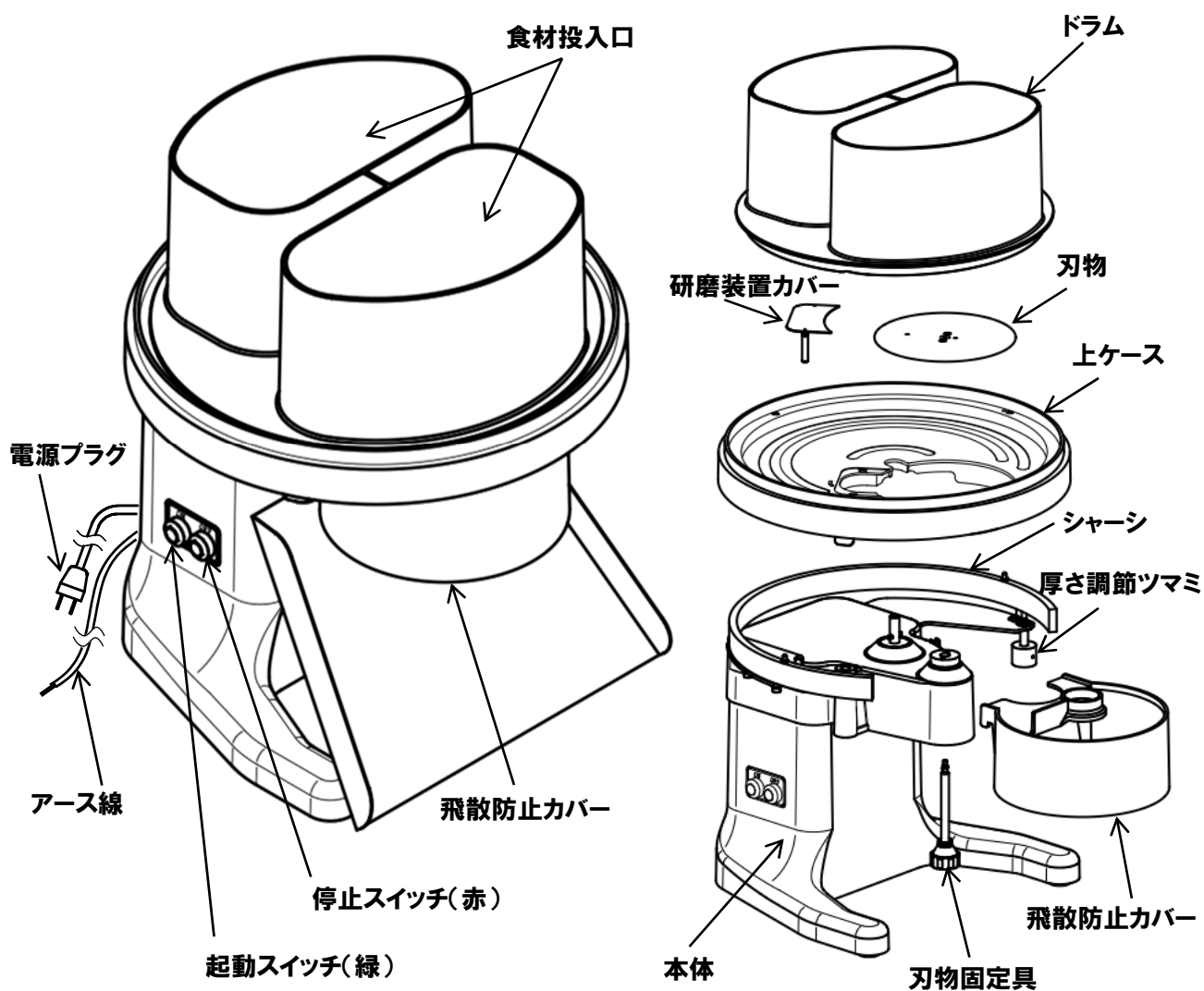
使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く



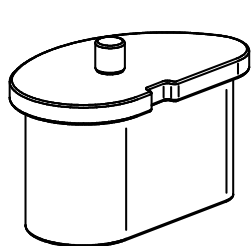
けが、火傷、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



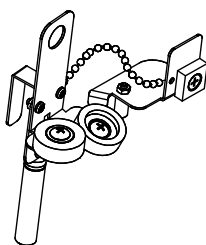
各部の名前



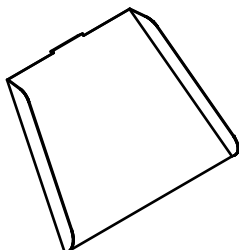
付属品



おもり(1 個)



研磨装置

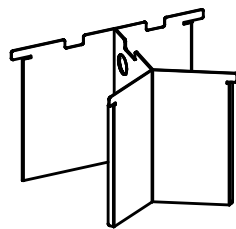


シュート



ストッパーピン

オプション品



玉ねぎ用アタッチメント

機械の持ち運び方と設置



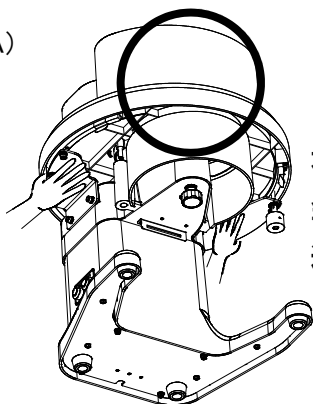
注意

持ち方や設置方法を誤ると、機械が破損したり、落下してけがをしたりする恐れがあります。

1. 持ち運び方

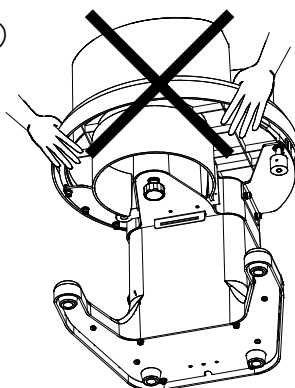
下図の(A)で示す部分を持って運んでください。(B)のように持たないでください。

(A)



本体両サイドの、
金属下部を持って
運んでください。

(B)



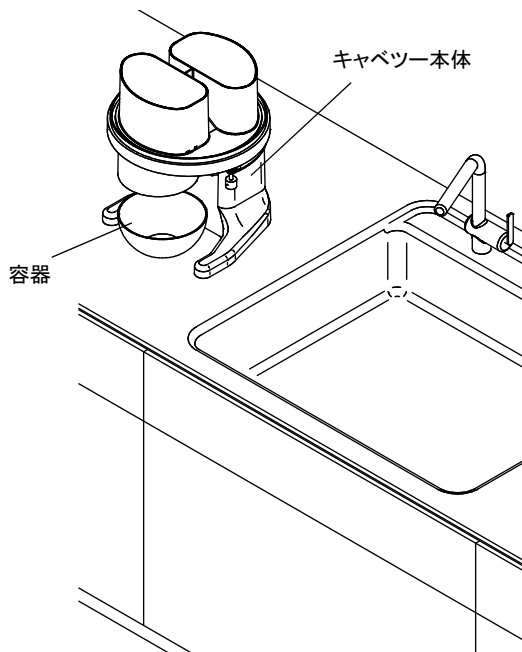
上ケースは持た
ないでください。

2. 設置方法

下図の(A)、(B)どちらかの方法で設置してください。

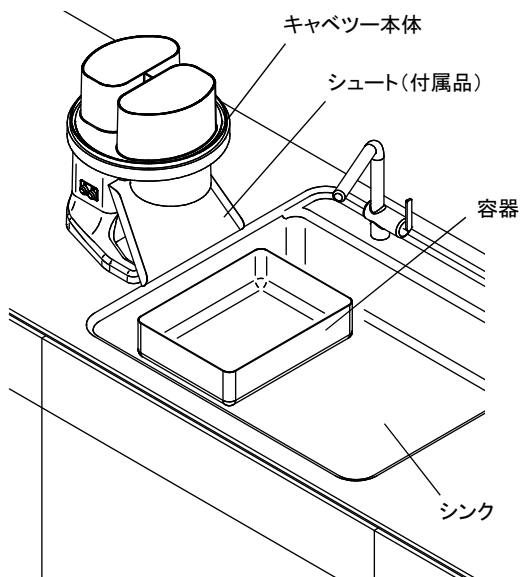
(A) 水平な作業台に置いた場合

排出口の下に容器を置いてください。



(B) 作業台の縁に置いた場合

付属品のシュートを用いることで大型の容器に落とし込むことができます。



ご使用前の準備

1. 上ケースがシャーシに正しくセットされているか確認してください。
正しくセットされていないと、安全スイッチにより、機械が動きません。
(P11. 上ケースの取り付け参照)
2. 研磨装置カバーが、上ケースに隙間なくセットされているか確認してください。
(P12. 研磨装置カバーの取り付け参照)
3. 刃物が、刃物固定具で確実に取り付けられているか確認してください。
(P12. 刃物の取り付け参照)
4. ドラムが正しくセットされているか確認してください。
正しくセットされていないと、安全スイッチにより、機械が動きません。
(P13. ドラムの取り付け参照)
5. アース線を設置場所のアース端子へ適切に接続します。
6. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
※本機の電源は、漏電遮断器付きサーキットブレーカ、もしくはそれと同等の設備のある専用コンセントに接続してください。



注 意

安全装置が正しく動作しない場合、お買い上げの販売店へお問い合わせください。



お願い

初めて機械を使用する場合は洗浄してください。(P14～15 参照)

ご使用方法

1. キャベツは、半切り、または四つ切りにして芯を取り除いてください。

2. キャベツの切り口を下にして、ドラムに入れてください。

※キャベツは、ドラムに抵抗なく入る大きさにしてください。キャベツが大きすぎるとドラムに引っかかり、切れなくなることがあります。

3. 起動スイッチ（緑）を押して下さい。（刃物、ドラムが回転します。）

※運転中は絶対にドラム、刃物に触れないで下さい。けがをする恐れがあります。

4. 機械を運転させながら、厚さ調節ツマミを回して、好みの厚さに設定してください。（図2参照）

5. ドラム内のキャベツが減ってきたら、適宜キャベツを上から補充してください。

※おもりやキャベツの出し入れは、必ず電源が切れていることを確認してから行ってください。けがをする恐れがあります。

6. キャベツが残り少なくなったら、図2のように付属のおもりを入れてお使いください。

※おもりには水など絶対に入れないでください。機械故障の原因になります。

7. すべての食材をカットし終わったら、停止スイッチ（赤）を押し機械を停止させてください。

8. 電源プラグをコンセントから抜いてください。

※高温多湿での使用は避けて下さい。水滴が機械内部に溜り、サビが発生して、故障の原因になります。

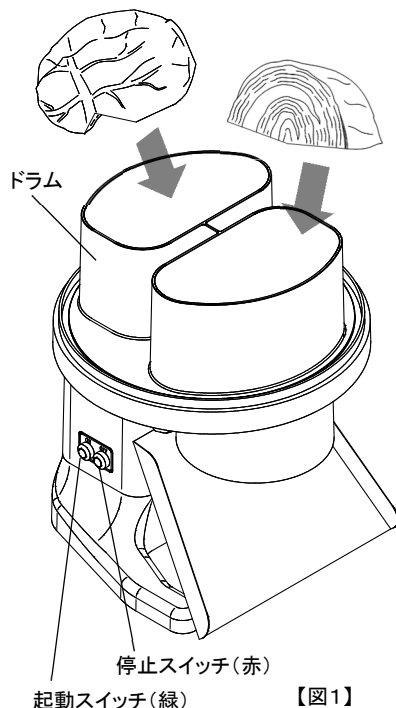
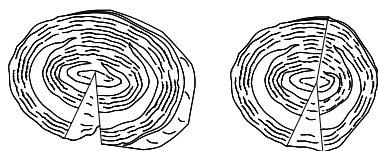


使用中に運転が停止した時は

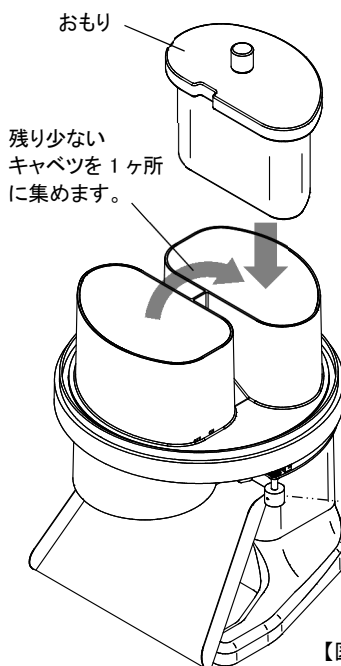
・この機械の定格時間は30分です。この機械のモーターには、サーマルプロテクターが内蔵されており、長時間運転してモーターの温度が上がると、機械が自動的にストップします。その場合、以下の手順で復帰させてください。

- ①停止スイッチ（赤）を押す
- ②電源プラグを抜き、30分～1時間程度機械を停止させる。
- ③再び電源プラグを差し込み、運転させる。

・刃物の切れが悪くなると、30分使用しなくても、機械がストップする場合があります。そのような場合は、刃物を研磨してください。（P16～17. 刃物研磨方法参照）



【図1】

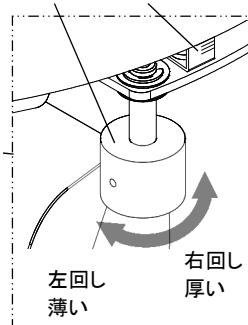


【図2】

※厚さ設定は、出荷時“0mm”になっています。

- ・厚さ調節ツマミを右に回すと、厚くスライスできます。
- ・厚さ調節ツマミを左に回すと、薄くスライスできます。
- ・厚さ調節ツマミ部に目盛りがあります。1目盛り1mmを目安とし、実際に切りながらスライス厚さを調節してください。

厚さ調節ツマミ 目盛り



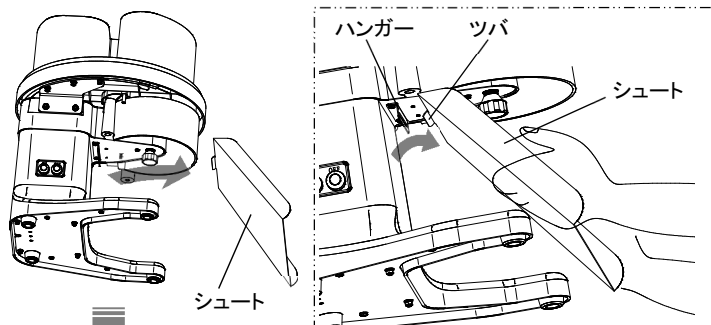
各部品の取り外し方法

注 意

部品の着脱および、お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
誤ってスイッチが入るとけがををする恐れがあります。

1. シュートの取り外し

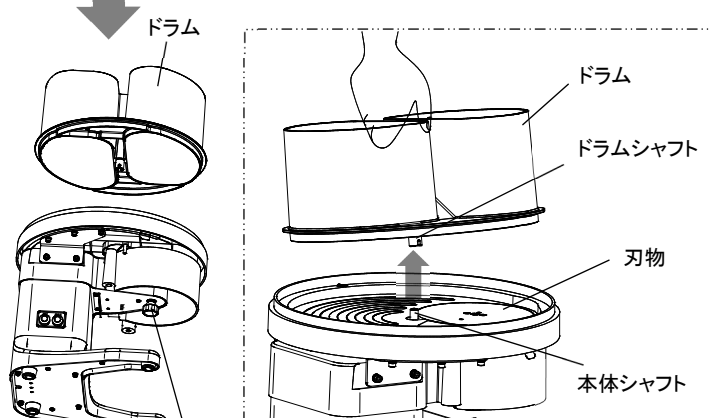
シュートの両脇に手を掛けて、シュートのツバをハンガーの長穴から外してください。



2. ドラムの取り外し

ドラムシャフトが刃物に当たらないように、ドラムを真上に持ち上げてください。

※ドラムシャフトが刃物に当たると、刃が欠けて切れが悪くなりますので、注意してください。



3. 刃物の取り外し

① ストッパーピンを刃物の穴に差し込んでください。

② 刃物上面の中心部を軽く押さえ、刃物固定具を左に回してロックを外し、下に引き抜いてください。

③ 刃物固定具を刃物上面の中心のねじ穴に止まるまでねじ込んでください。

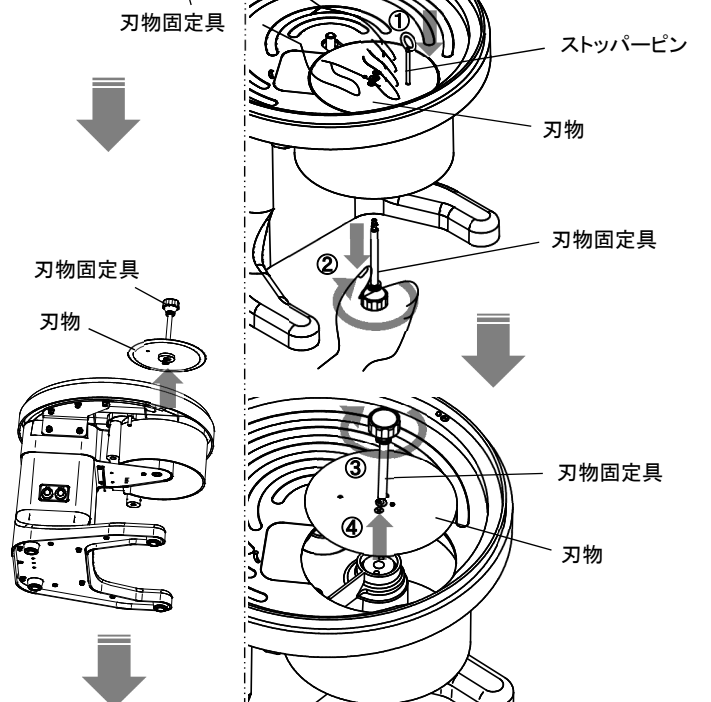
④ 刃物固定具を持ち、真上に抜き、刃物を外してください。

⑤ ストッパーピンは、機械後面のフックに戻してください。

※刃物の刃先には触れないでください。けがををする恐れがあります。

※刃物を落としたり、硬いものにぶつけないようにして下さい。けがをしたり、刃先がぶれ切れなくなります。

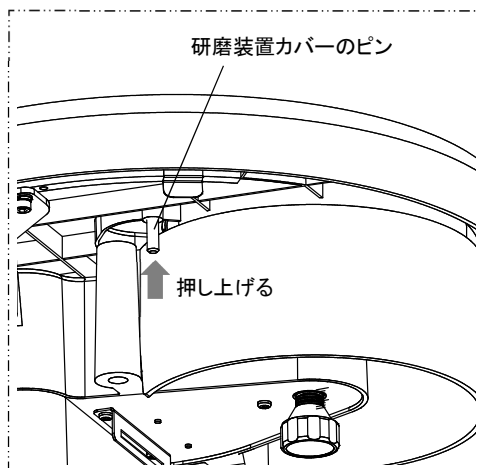
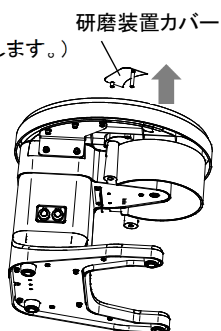
※刃物着脱の際は必ず、刃物固定具を使用して下さい。直接手で持つとけがををする恐れがあります。



4. 研磨装置カバーの取り外し

(研磨装置カバーは、洗浄時や刃物を研磨する時に外します。)

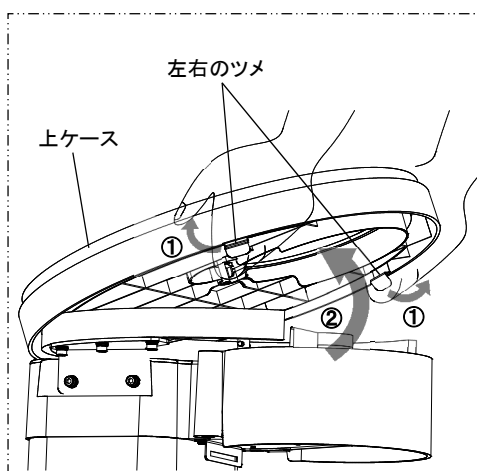
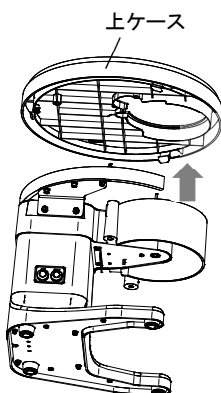
- ①上ケースがシャーシに正しくセットされているか確認してください。
- ②上ケース裏面から、研磨装置カバーのピンを指で押し上げ、研磨装置カバーを外してください。



5. 上ケースの取り外し

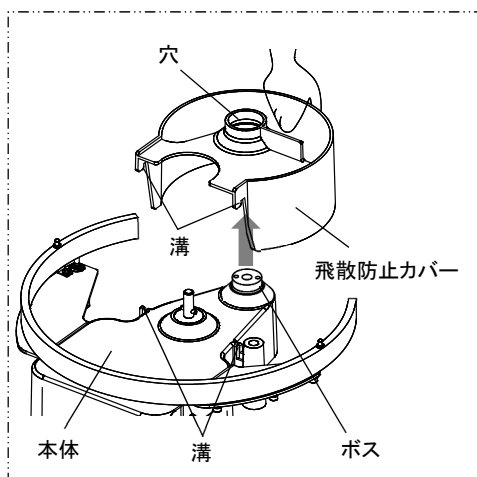
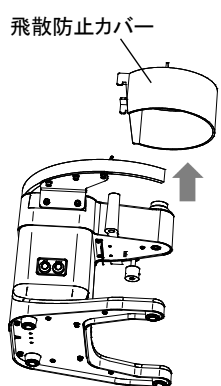
- ①上ケース左右のツメを外側に広げてください。
- ②上ケースの手前側を持ち上げるようにして外してください。

※必ず、刃物を外してから上ケースを外してください。刃物が付いていると、上ケースが外れません。



6. 飛散防止カバーの取り外し

飛散防止カバーを真上に持ち上げて外してください。



各部品の取り付け方法

注 意

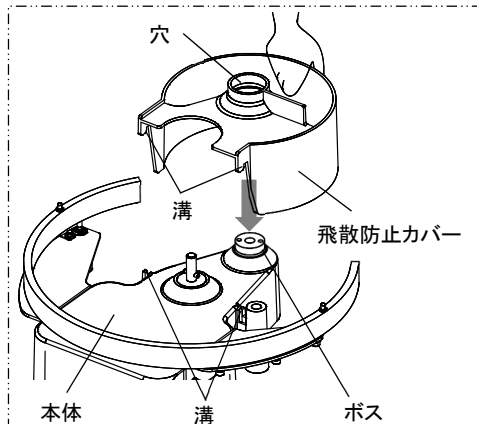
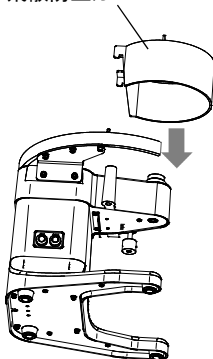
部品の着脱および、お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
誤ってスイッチが入るとけがをする恐れがあります。

1. 飛散防止カバーの取り付け

飛散防止カバーの溝と本体の溝、飛散防止カバーの穴と本体のボスを合わせて、上から本体にセットしてください。

※飛散防止カバーを必ず取付けて下さい。
取付けないで使用した場合、キャベツが飛散します。

飛散防止カバー



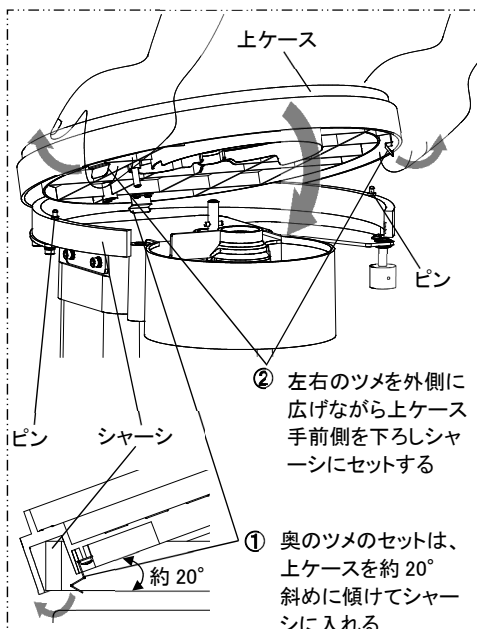
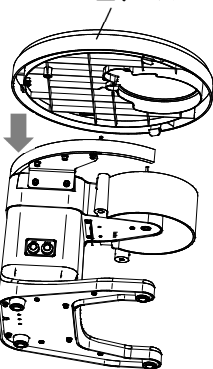
2. 上ケースの取り付け

① 上ケースの奥のツメのセット

(上ケースの文字①の裏のツメ)

上ケースを約 20° 斜めに傾けた状態で、奥のツメをシャーシ中央部に合わせ、上ケース裏面の外周の溝をシャーシに入れる。

上ケース



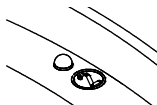
② 上ケースの左右のツメのセット

(上ケースの文字②の裏のツメ)

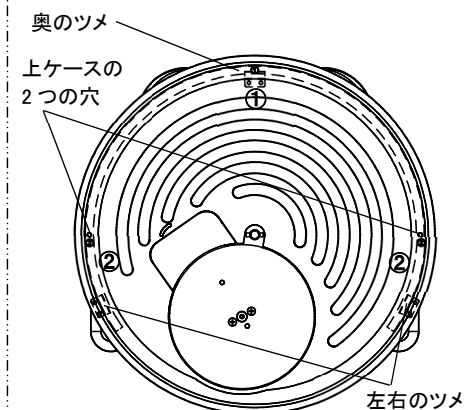
左右のツメを外側に広げながら、上ケース手前側を下ろし、2つの穴にシャーシのピンが入るように、上ケースをシャーシにセットする。

上ケースの2つの穴にシャーシのピンが入り、奥と左右のツメがシャーシにしっかりかかっていることを確認してください。

きちんとセットされると、上ケースの2つの穴から下図のように、シャーシのピンが出ます。



※上ケースがシャーシに正しくセットされていないと、安全スイッチが動き、機械が動きません。



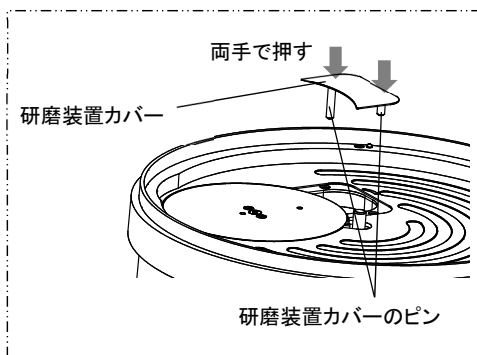
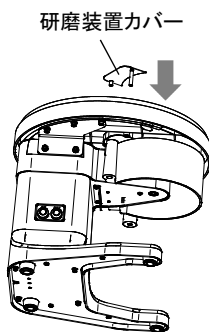
3. 研磨装置カバーの取り付け

- ① 研磨装置カバーの2本のピンを上ケースの2つの穴に入れてください。
- ② 研磨装置カバーの2本のピン部を、両手で止まるまで下に押し、取り付けてください。

※片手で押すと、正しく取り付けられない恐れがあります。

- ③ 研磨装置カバーの上面が、上ケースの上面より出ていないことを確認してください。

※研磨装置カバーは、必ず取り付けてご使用下さい。正しく取付けないと、刃物だけがをしたり、キャベツが引っかかって機械が故障する恐れがあります。



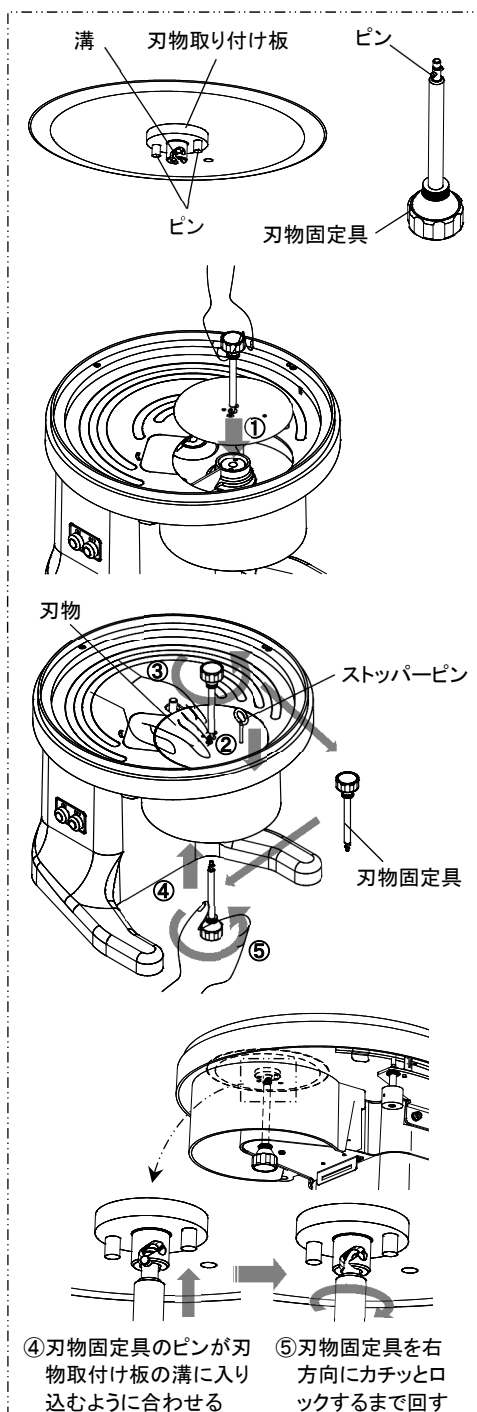
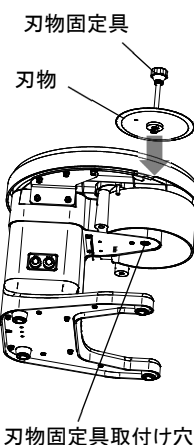
4. 刃物の取り付け

- ① 刃物固定具を持ち、刃物取り付け板のピンと本体のピン穴を合わせて入れてください。
- ② ストッパーピンを刃物の穴に差し込んでください。
- ③ 刃物固定具を左に回して刃物から取り外してください。
- ④ 刃物固定具を本体下部の穴に入れます。刃物上面の中心部を軽く押さえ、刃物固定具のピンが、刃物取り付け板の溝に入り込むように回しながら合わせてください。
- ⑤ 刃物固定具をロックするまで右方向にしっかりと回してください。(ロックするとカチッという感触があります。)
- ⑥ ストッパーピンは、機械後面のフックに戻してください。

※刃物の刃先には触れないでください。けがをする恐れがあります。

※刃物を落としたり、硬いものにぶつけないようにして下さい。けがをしたり、刃先がつぶれ切れなくなります。

※刃物着脱の際は必ず、刃物固定具を使用して下さい。直接手で持つとけがをする恐れがあります。



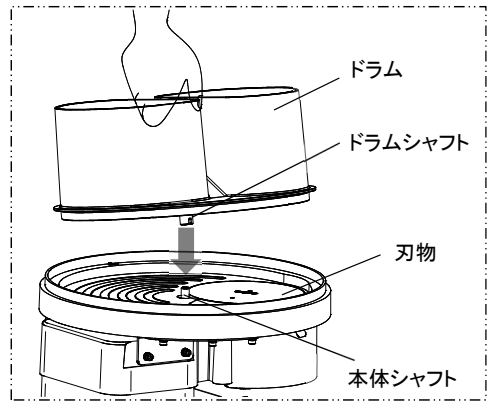
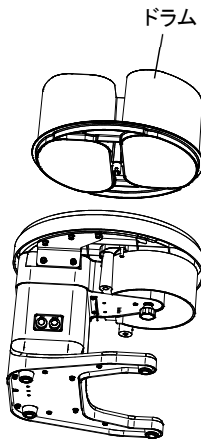
- ④ 刃物固定具のピンが刃物取り付け板の溝に入り込むように合わせる
- ⑤ 刃物固定具を右方向にカチッとロックするまで回す

5. ドラムの取り付け

- ① 本体シャフトのピンと、ドラムシャフトの溝の位置を合わせてください。
- ② そのまま真下に止まるまで入れてください。

※ドラムが正しくセットされていないと、安全スイッチにより、機械が動きません。

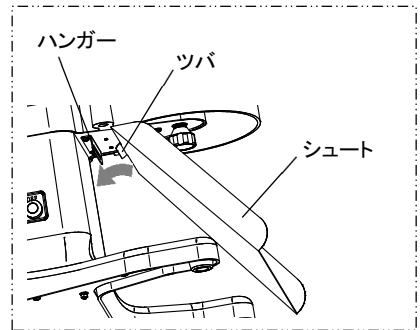
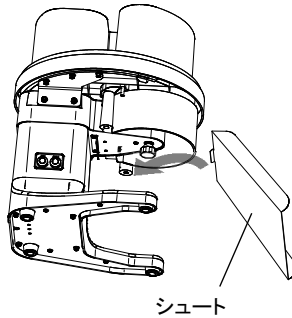
※ドラムに衝撃を与えるとドラムが破損する場合があります。取扱いには注意してください。



6. シュートの取り付け

- ①ハンガーの長穴に、シュートのツバを入れてください。
- ②シュートの左右振り分けは、スタンドと均等に取付けてください。

※機械を持ち運ぶ際は、シュートを必ず外してください。シュートが外れて、落下によるけがの恐れがあります。



お手入れの方法

いつも機械を安全で清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。放っておきますと、機械の故障や雑菌の発生の原因になることがあります。



注意

部品の着脱および、お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

1. 食器洗浄機によるお手入れ

①食器洗浄機で洗浄可能な部品は、シュート・ドラム・刃物・上ケース・飛散防止カバーです。P9～10の各部品の取り外し方法を参照し、取り外してください。

②食器洗浄機で洗浄を行ってください。

※食器洗浄機をご使用の際は、中性または弱アルカリ性洗剤を使用し、80℃以下の温度でご使用ください。

※刃物は鋭利ですので、取扱いには十分注意してください。

③洗浄後、必ずタオルなどで水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

④乾燥後、各部品に市販のアルコール除菌剤などをスプレーしてください。

2. 水かけ洗いによるお手入れ

①水かけ洗い可能な部品は、おもり・シュート・ドラム・刃物・上ケース・飛散防止カバーです。P9～10の各部品の取り外し方法を参照し、取り外してください。

②各部品に水をかけ、スポンジを使用して食材の残りカスを洗い流してください。

※水かけ洗いで洗剤をご使用の際は、中性または弱アルカリ性洗剤を使用してください。

※刃物は鋭利ですので、取扱いには十分注意してください。

※刃物は必ず熱湯に5～10分浸け置き後に洗うようにしてください。

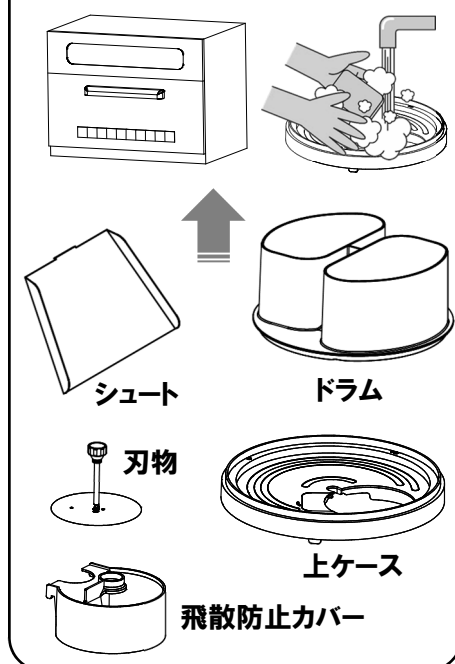
※おもりは、60℃以下のぬるま湯で洗浄してください。

③洗浄後、必ずタオルなどで水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

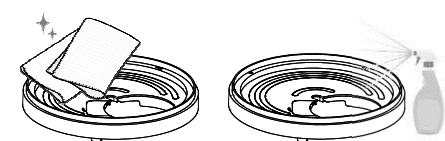
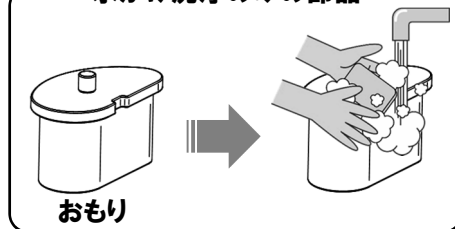
④乾燥後、各部品に市販のアルコール除菌剤などをスプレーしてください。

食器洗浄機、水かけ洗浄

可能部品



水かけ洗浄のみの部品



洗浄後タオルで 乾燥後アルコール
水分を拭き取り 除菌スプレーする
十分乾燥させる

3. 本体のお手入れ

- ① 本体は固く絞ったタオルなどを使用し、食材の残りカスをきれいに拭き取ってください。
- ② その後、必ず乾いたタオルなどで水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

<本体の水かけ洗浄方法>

本体は水を含ませたスポンジやタオルなどを使用し、食材の残りカスを洗い流すことが可能です。

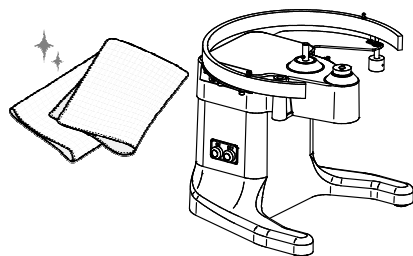
本体を水洗いする時は、以下の点にご注意ください。

- ・シンクに水を溜め、つけおき洗いはしないでください。
- ・シンクに水が溜まらないようにして洗ってください。
- ・本体に蛇口やホースから直接水をかけないでください。
- ・本体を横にしたり逆さまにしたりしないで、立てた状態で洗ってください。
- ・本体の上から下に水が流れるようにして洗ってください。
- ・洗浄後、必ずタオルなどで水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

※本体内部に水が入ると故障の原因になります。本体内部に水が入らないように十分に注意してください。

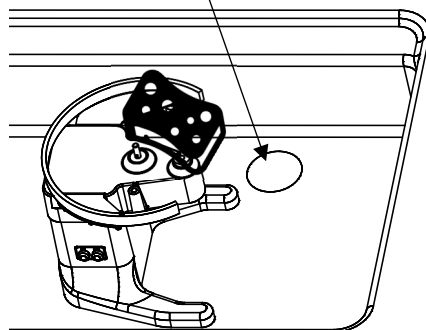
※本体が水に濡れたまま使用すると感電の恐れがありますので、十分乾燥させてからご使用ください。

※本体のお手入れで洗剤をご使用の際は、中性洗剤のみを使用してください。

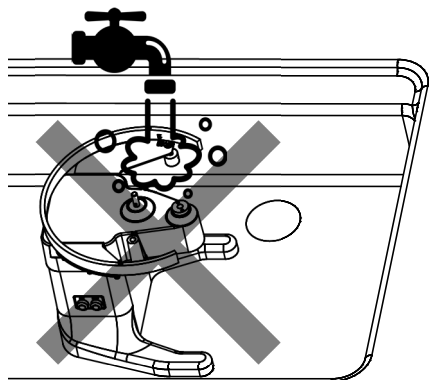


本体は、固く絞ったタオルで
汚れを拭き取る

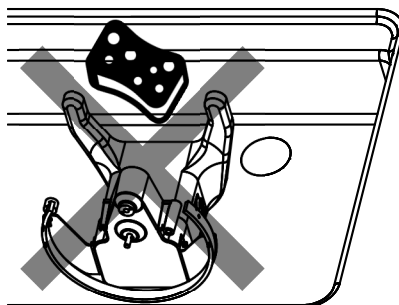
水がたまらないようにする
(排水口は塞がない)



本体は立てた状態で、水を含ませ
たスポンジやタオルで水かけ洗浄
可能



本体に蛇口やホースから直接水
をかけないでください



本体を横にしたり逆さまにして洗
わないでください

刃物研磨の方法

下記のような場合は、刃物の研磨をお勧めいたします。

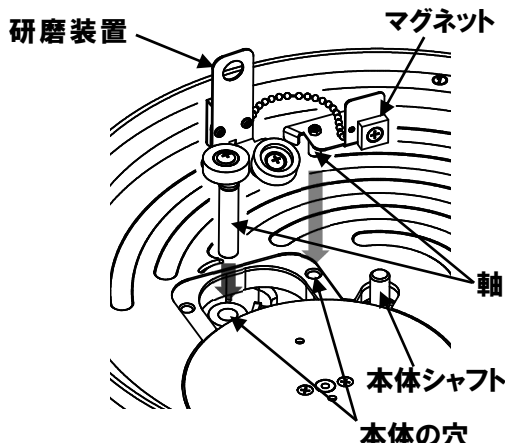
- ・キャベツを 50 玉くらい切った場合
- ・キャベツが薄く、切れなくなった場合
- ・キャベツが逃げて、切りムラが多くなった場合
- ・キャベツが刃物に食い込んで、機械がストップする場合



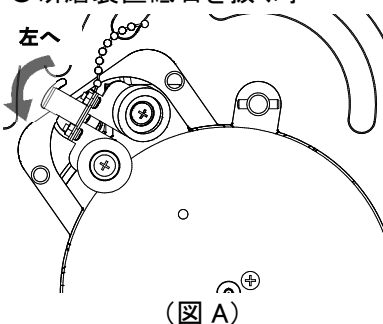
注意

部品の着脱および、お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

1. ドラムを外してください。(P9 参照)
2. 研磨装置カバーを外してください。(P10 参照)
3. 図 A のように、本体の穴に研磨装置の軸を入れてください。
※砥石は刃物と干渉しないようにして着脱してください。
4. 図 B のように、本体の穴にマグネットの軸を入れてください。
※マグネットは強力なため、図 B のように本体シャフトと離れた状態で着脱して下さい。
非常に強力なマグネットを使用しているため、マグネットの吸着力でけがをしないように気を付けてください。
5. 図 C のように、研磨装置とマグネットを回転させてください。
※マグネットはドラム有無の安全スイッチを解除するためのものです。
マグネットが正しくセットされていないと機械が動きません。
6. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
7. 起動スイッチ(緑)を押し、刃物を回転させます。

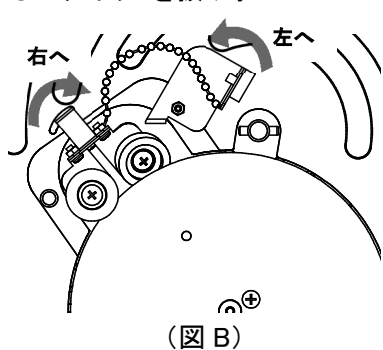


- 研磨装置砥石を入れる時
- 研磨装置砥石を抜く時



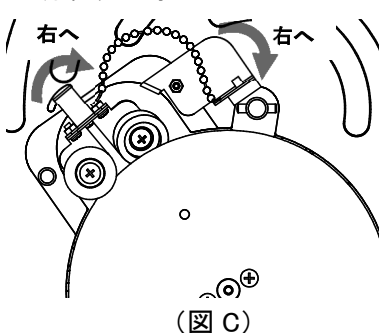
(図 A)

- マグネットを入れる時
- マグネットを抜く時



(図 B)

- 研磨する時



(図 C)

8. 刃物の研磨は研磨装置をしならせて行います。

図 D のように、研磨装置を①の方向に軽く倒すと刃物の下面を、研磨装置を②の方向に軽く倒すと刃物の上面を研磨できます。下面は 3 秒、上面は 2 秒くらい砥石を断続的にあててください。これを 2～3 回繰り返してください。

※刃物の研磨は必ず下面を先に行ってください。順番が逆の場合、切れ味が悪くなります。

※刃物の上面研磨はバリを取る程度にしてください。刃物上面の研磨をしすぎると、両刃になったり、刃先が丸くなったりし、切れ味が悪くなります。

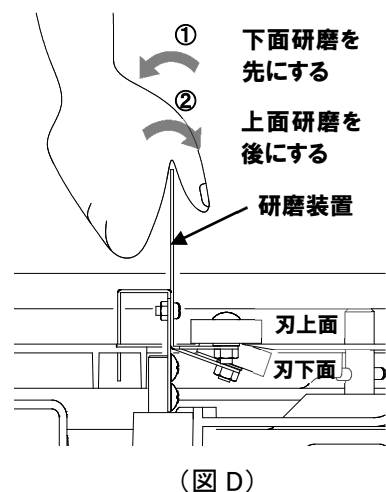
※砥石は強く押しすぎないようにしてください。砥石が破損する恐れがあります。

※刃物の研磨を怠ると、刃物の研磨が難しくなります。刃物の研磨は、こまめに行ってください。

※砥石が破損したり、古くなったら新しい砥石に交換してください。

※刃物の直径が、142mm 以下に減ってきたら新しい刃物(別売り)に交換してください。新品時の直径は 146mm です。

● 研磨方法



9. 停止スイッチ(赤)を押し、機械を停止させ、電源プラグを抜いてください。

10. 図 B のように、マグネットを本体から引き抜いてください。

※マグネットは強力なため、図 B のように本体シャフトと離れた状態で着脱してください。
非常に強力なマグネットを使用しているため、マグネットの吸着力でけがをしないように気を付けてください。

※研磨装置は、水のかからない所に保管してください。

11. 図 A のように、研磨装置を本体から引き抜いてください。

※砥石は刃物と干渉しないようにして着脱してください。

12. 研磨装置カバーを必ず取付けてください。(P12 参照)

13. 刃物研磨後、機械に飛散した研磨粉を洗浄してください。
(P14～15 参照)

※うまく研磨できない場合は、有料研磨をご利用ください。ご依頼は販売店へご相談ください。

仕様

機械名称	『キャベツ』 キャベツスライサー
型式	RCS-71
使用用途	キャベツの千切り
機械寸法（幅×奥行×高さ）	364mm×364mm×439mm（おもり含まず）
機械重量	13kg
電源	AC100V 50/60Hz
定格電流	1.3/1.5A
定格消費電力	130/150W
定格時間	30 分
処理能力	30 分 13～15 玉（0.8mm 厚）
厚さ調節範囲	0.3～6.0mm
安全装置	サーマルプロテクター マグネットスイッチ（2箇所）
付属品	・ おもり（1 個） ・ 研磨装置 ・ シュート ・ ストッパーピン
オプション部品	・ 玉ねぎ用アタッチメント
その他	
①刃物研磨時期の目安	キャベツ 約 50 玉 スライス時
②刃物新品交換の目安	刃物の直径 約 142mm 以下（新品時直径 146mm）

ちょっとお調べください

故障かな？……とお思いの時は、アフターサービスを
をご依頼になる前に、次の点をお調べください

症 状	原 因	処 置
動かない	電源コードが抜けている	プラグをコンセントにしっかり差し込んでください
	安全装置が作動している	上ケース、ドラムを確実にセットしてください （P11,13 参照）
キャベツの切れが悪く なった	刃物が摩耗している	刃物を研磨してください（P16 参照）
	厚さ調節ができていない	好みの厚さに合わせて調節してください（P8 参照）
	キャベツがドラムに引っかかっている	キャベツをドラムに抵抗なく入る大きさに切ってください
運転途中に機械が止 まった	キャベツが刃物に挟まっている	刃物を研磨してください（P16 参照）
	定格時間を超えて使用している	電源プラグを抜き、機械を 30 分～1 時間程停止してくだ さい（P8 参照）
刃物固定具をロックす るときに、カチッという 感触が無い	刃物取り付け板が摩耗している	新しい刃物取り付け板に交換する必要があります 部品の交換は有料になります
刃物研磨時、機械が 動かない	安全装置が解除されていない	研磨装置とマグネットを確実にセットしてください （P16 参照）

修理サービスおよび保証(保証書)について

修理サービスについて

保証書について

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店または下記に、ご相談ください。
- なお、ご相談されるときは、キャベツ-RCS-71 型及びお買い上げの時期をお忘れなくお知らせください。
- 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。
- このキャベツ-RCS-71 型に使用している部品は、性能向上のために一部予告なしに変更することがあります。
- 保証書にお買い上げ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効とはなりません。もし記入がないときはすぐにお買いあげの販売店にお申し出ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料になります。
- (イ)ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
- (ロ)お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷。
- (ハ)火災・地震・風水害・落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- (ニ)消耗品(刃物など)

本文記載の内容は無償修理についての事項です。

- 1.本製品の保証期間は1年とする。
- 2.本保証期間に、使用説明書に基づき正常に使用している状況下で発生した故障(当社の正式な職員の判定による)は無償で修理する。
- 3.保証期間中に以下の状況の1つが発生した場合には、有償修理となる。
 - 1)本保証書及び有効な購入証明物を提供できない場合
 - 2)使用上の錯誤により修理が必要な故障および損壊になった場合
 - 3)購入後の輸送、搬送、落下による故障及び損壊
 - 4)その他不可避の外部要因による故障及び損壊
 - 5)使用不当により浸水もしくは他の液体により損壊した場合
 - 6)指定した以外の電源、電圧による損壊
- 4.本保証期間中、以上の約定条件に基づき、無償修理を行う。
- 5.製品の的外観、消耗品や付属品は保証範囲外とする。
- 6.以上の保証以外にその他の如何なる明示されたもしくは黙示的な保証(商品性を含む、特定の応用の合理性と適合性等に対する暗黙の保証)は行わず、契約にあるかないか、民事的な過失上のものかを問わず、かつその他の事態についても当社は何らかの特殊な、偶然なもしくは間接的な損害の責任を負担しない。

株式会社ハッピージャパン

「産業機械営業部 コンポーネントグループ」

〒110-0016 東京都台東区台東二丁目9番5号 TEL:03-3833-5020 FAX:03-3834-1636

保 証 書

型 名	キャベツ RCS-71		
保 証 期 間	1 年間	お 買 上 げ 日	年 月 日
ご 愛 用 者	ご住所 ご芳名	〒 TEL ()	
販 売 店	住 所 店 名	〒 TEL ()	